

令和３年度和歌山県統計グラフコンクール審査講評

令和３年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門において合計１８６点（２０６名）の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方に重点をおいて審査しました。

その結果、特選５点、入選１０点、佳作１３点、合計２８点を入賞作品として決定しました。

第１部 小学校１・２年生の作品

第１部の作品から、特選１点、入選２点の合計３点が入賞しました。

「ぼくの家の人じんしらべたよ」は、長期間にわたり調査をして、人じんをサイズごとに分け、出荷数の変化が一目で分かるようグラフに表すことができました。グラフを色分けして表現したり、効果的に挿絵を用いたりするなど工夫することができました。

「わか山じょうラジオ体そうしらべ」では、疑問に思ったことに対し聞き取り調査を行い、いろいろなグラフを用いて、また、それぞれのグラフには挿絵や色分けの効果的な表現があり、結果を分かりやすくまとめることができました。

「えだまめしらべ」は、「えだまめ」という身近な野菜について、さやと葉の数に注目して観察し、調べた結果をグラフにまとめることができました。

第２部 小学校３・４年生の作品

第２部の作品の中から、特選１点、入選１点の合計２点が入賞しました。

「きいてみたよ SDG s」は、学習やテレビなどで取り上げられているSDG sのイメージについて調査した作品です。SDG sを自分のこととして捉え、棒グラフや円グラフを活用し、また、挿絵の配色もよく、見やすく仕上げることができました。

「どんなマスクをつけていますか？」は、コロナ禍における生活の中にある身近なマスクをテーマに調査した作品です。身に付けているマスクの種類について効果的にグラフを用いてまとめることができました。

第3部 小学校5・6年生の作品

第3部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作3点の合計6点が入賞しました。

「みんなでやろうSDGs」は、学習や社会の動きの中での気づきをテーマに調査した作品です。色鮮やかに色分けされた多様なグラフを用いて、結果を整理してまとめることができました。自分達にできることについて考えているところも素晴らしいです。

「買い物する時どうする？」は、環境問題をテーマにエコバッグに注目し調査した作品です。様々な年齢層の多くの人に聞き取り調査を行い、項目ごとに挿絵や色を工夫して分かりやすく円グラフ・棒グラフを使ってまとめることができました。

「オリンピック メダル獲得数調べ」は、日本で開催されたオリンピックのメダル数に注目し調査した作品です。種目別、大会別、国別等の項目に分け、メダル数を多様なグラフを用いて分かりやすくまとめることができました。

「プロ野球選手の出身都道府県はどこだ?」、「地産地消アンケート」、「給食たべものしらべ」では、自分の生活の中で興味を持ったことについて、アンケート調査などを行い、イラストや円・棒グラフを効果的に用いてまとめ、ひと目で結果が分かる作品に仕上がっています。台紙とグラフの色の組み合わせも効果的です。

第4部 中学生の作品

第4部の作品から、特選1点、入選2点、佳作5点の合計8点が入賞しました。

「オンライン化の波にどう乗る?!」は、コロナ禍における「オンライン化」をテーマに、コロナ禍における生活の在り方について分析されている作品です。データを色彩鮮やかに表やグラフを用い丁寧にまとめ、効果や課題として自分の考えもしっかりまとめることができました。

「本を読む人は減っている？」は、テーマについて多くの項目を挙げ、収集したデータを棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフに表し、結果を導き出している作品です。また自分の考えについても項目ごとに書かれています。

「新型コロナウイルスワクチンは必要??Yes or No」は、コロナ禍における現代的課題について、聞き取り調査を行い、それを根拠に結論を導き出している作品です。自分の考えやグラフから分かることを項目ごとにしっかりまとめています。

「毎日の食事と栄養のバランス」、「食中毒について知ろう!!」、「実は怖い!?インターネット依存症」、「メダルから世界を見る」、「減らそう!食品ロス」は、興味を持ったことをテーマに、参考資料から収集したデータを、多様なグラフを効果的に用いて、分かりやすく色彩豊かにまとめています。調査から導き出した結論や考えも書かれています。

第5部 高校生の作品

第5部の作品から、入選1点が入賞しました。

「学校行事 増やしてください！」は、コロナ禍において変化した学校生活の中で、身近な学校行事をテーマにした作品です。アンケート調査を行い、分かりやすいグラフと鮮やかな配色で効果的に表現されています。また、自分の考えもまとめられています。

パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部から、特選1点、入選2点、佳作5点の計8点が入賞しました。

「東京 2020 オリンピック・パラリンピックメダルから学ぶ『都市鉱山』」は、メダルが都市鉱山から作られたプロジェクトであったことに注目し、資源問題について提案としてまとめられた作品です。様々な視点からリサイクルについて調査したことをグラフや絵、吹き出しなどを用いて分析しています。

「タンパク質をどの食材から摂るのが良いのかな。」は、私達の食生活においてタンパク質の摂取について焦点を絞ってよく調査された作品です。視点に対して適切なグラフを用いて分析し、自分の考えも添えられています。

「ビックマック指数知ってる？」は、世界同一品質であるハンバーガーの価格から国の物価について考察した作品です。世界の国々の価格やBMI等について調査したことをグラフや挿絵を用い、また、文字や配色にも工夫がなされ、分かりやすくまとめられています。

「私たちのランドセル事情！」、「コロナ禍の中における旅行・水泳の実態」、「輝け!!私の夏 第70回近畿中学校総合体育大会陸上競技 in 兵庫県」、「競わずにいいとこどり？電子書籍 VS 紙の書籍」、「Chrome とか Edge とか結局何がええねん!？」は、時事的な観点や自らの学校生活の中から関心の高い事柄をテーマにした作品です。どの作品もデータを活用し、適切なグラフを用いて分かりやすくまとめることができました。調査から導き出した結論や自分の考えも書かれています。

以上、部門ごとに入賞作品を中心に感想を書かせていただきました。多数の応募ありがとうございました。

これからも、身近な問題、社会・経済・環境問題など、自分が興味・関心を持ったことや課題意識を持ったことについて、調査や観察などを行い、集めたデータを分類、集計、グラフ化し、表現することや分析することの楽しさを体験し、作品作りに励んでください。

次回も多数のご応募を期待しています。